

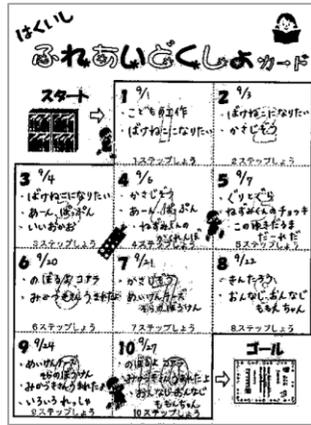
家族ふれあいカード

市内小学校・中学校から、
1065点取り組み

わたしは今日お母さんとおさんぽをしました。さんぽ中にザリガニやおたまじゃくしを見ました。おさんぽ、たのしかったです。 小学4年 女

食後のさんぽは道にさいている花や田んぼの中のザリガニを見つけながら、久しぶりに良い気分てんかんになりました。 母

羽咋市ふれあい読書カード



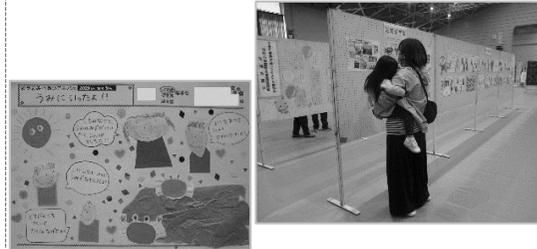
市内
保育所(園)
幼稚園
小学校
(1~2年)
から、
323点
取り組み

読書カードを実施して

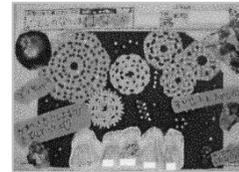
- ◆子どもの心の発達が促されます。
- ◆親と子の『きずな』が深まります。



親子ふれあいアルバム

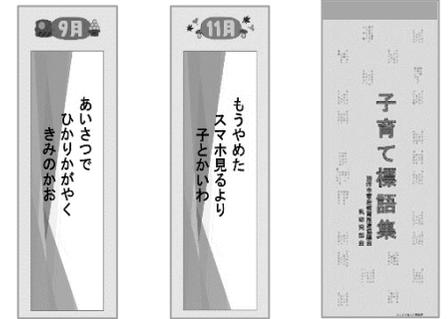


市内
保育所
保育園
認定こども園
から、
178点
出展



乳幼児のご家庭では、子どもの成長の記録として、親子で楽しくふれあって、アルバムを作成しました。市文化祭に出展しました。

子育てふれあい 標語



市内保育所・保育園・認定こども園から、66点出展

【お題】
「あひさつ、家族、食事、お手伝い」の中から、お題を選択
子育てふれあい標語は、子育てを大切に、楽しんでいるご家庭の保護者の様子が伺えました。子育て標語集(月めくりカレンダー)を作製しました。

毎月第3日曜日は、
『家庭の日』



羽咋市家庭教育情報紙 第2号

第28号

平成24年度に刊行して、本号で通算第28号となりました。

羽咋市家庭教育推進協議会 検索

こちらのQRコードで家庭教育推進協議会のwebサイトにアクセスできます

家族川柳

市内小学校(3~6年)
中学校・高等学校から、
1,195点出展

お母さん
重たい荷物は
まかせてね
高校1年 男

【お題】
「あひさつ、家族、食事、
お手伝い、羽咋市」
の中から、お題を選択

俺が持つ
軽々持つ腕
たのもし
母

羽咋市の
きれいな海が
大好きだ
小学4年 女
羽咋市は
あなたのふるさと
大切に
父



ファミリーふれあい 短歌

市内中学校(2年生)
高校1年生から、
149点出展

ただいまと言った視線のその先に
ねこのむかえと 家族の笑顔
高校1年 女 ↓ 父

つかれたらためすぎないで 頼ってね
その一言でああ癒される
中学2年 女 ↓ 母

一つの句(上の句(五七五)・下の句(七七))
からなる「ファミリーふれあい短歌」を募集

街頭巡回活動

青少年非行の未然防止と問題行動の早期発見のため、市内を定期的に巡回しました。(年間10回)



あひさつ運動時の 啓発カード入ポケットティッシュの配布

「早寝早起き朝ごはん」の生活リズムを整えよう!

朝の本腰の光を浴び、朝ごはんをしっかりと食べることで、海馬が活性化し、脳の記憶力に影響する。

- ◎朝、起きる時間を決めよう!
- ◎朝ごはんをちゃんと食べよう!
- ◎夜、寝る時間を決めよう!
- ◎生活リズムを整えよう!

羽咋市家庭教育推進協議会 22-9331

CAP講演会

CAPとは、Child Assault Prevention



子どもたちがあらゆる暴力から自分自身を守るために何ができるかを考える人権教育プログラムです。

保護者ワークショップの様子



子どもをとりまく環境においてインターネットは多様な役割を担うようになってきました。そこで、令和4年10月、いしかわ子ども総合条例の一部が改正されました。

- 子どもの携帯電話端末等の所持制限は廃止
- 家族と話し合って利用のルール作りに努める

子どもたちが正しい知識のもと、安全に賢く活用する力の獲得は必要不可欠です。

ルール作りで大事にしたいこと

- それぞれの思いを聞き合う
- ルールを書き残す
- 具体的に決める
- 成長に合わせて見直す
- 便利な機能を利用する

大人と子どもの歩み寄り3つのポイント

おとな

- 事情も聞かずに怒らない
- 心配しすぎて大騒ぎしない
- 何でも勝手に決めない

子ども

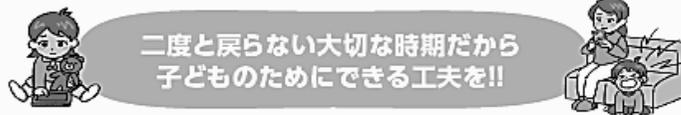
- 素直にちゃんと話す
- 困ったら相談する
- 一緒に決めたことは守る



ネットとうまくつきあう方法が載っています。読んでみましょう。

年長児・小中高校生の保護者に配付

デジタル時代の子育てを一緒に考えてみよう！



子どもにとっては周囲の大人のスマホの使い方が手本になります。子どもにしてほしい行動をまずは大人がしてみせることを心がけましょう。



子どもと会話をするときは、大人もスマホをやめて目を見て会話をしましょう。

「デジタル時代の子育てを一緒に考えてみよう!」総書き

詳しくはこちらをご覧ください
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/preschool/

『親子のホットとネット大作戦 Next』石川県・石川県教育委員会 2023年7月発行 より

子育てのヒント

- あせらない
- 他の子とくらべない
- 親の笑顔が子どもの笑顔をつくる
- 早寝早起き朝ごはん
- 正しいしつけは子どもへの大切な贈り物
- 家族一緒にの食事を大切にする
- 子どもは親の姿を見て学んでいく
- 過保護や過干渉はやめる
- 良いところを見つけて **ほめる**

羽咋市家庭教育推進協議会からの8つのお願い

- ㊦ ぞくを たいせつに
- ㊧ をつないで、ぬくもりを
- ㊨ つまでも ずっと
- ㊩ ぼうを もって
- ㊪ うすを みまもろう
- ㊫ まくほめて、こどもを のばそう
- ㊬ しを そんちょうしよう
- ㊭ りかえして、こえかけを

～子どもたちの不安を和らげるために～

令和6年能登半島地震被害におかれましては、一日も早く、日常に戻りますことをお祈り申し上げます。

緊急時、子どもたちは、恐怖や喪失の体験、危険な状況からの避難、住みなれた家や地域からの移動、避難先での不自由な生活など、多くの困難に直面します。

このたびの能登半島地震のような災害が発生した際には、日常が一変するなか、普段通りに過ごしているように見えても、子どもたちは身近なおとなの助けを必要としている場合があります。

子どもの心に落ち着きを与え、トラウマ（心的外傷）の傷口を最小限にするため、専門家やボランティアではなく、普段から一番身近にいる方々にしかできないことがあります。身近な方々に実践いただける、子どもの心のケアのポイントをまとめました。

災害時の子どもたちの心のケア4つのポイント

- 1 「安心感」を与える
- 2 「日常」を取り戻すことを助ける
- 3 被災地の映像を繰り返し見せない
- 4 子どもは自ら回復する力があることを理解し、見守る

詳しくはこちら



(公財)日本ユニセフ協会 ホームページより

本文は日本ユニセフ協会の許諾を得て掲載をしていますので、複製および、他への転載または送信を禁止します。

編集後記 ～今年度を振り返って～

今年度はコロナ禍が少しずつ収まり、多くの事業が復活してきました。

時代が変わっても、子育ての根本は変わらないですし、当会としては、親子のふれあい事業は続けていきたいと考えております。

今年度は事業のあり方を考えさせられることがありました。スマホ、タブレット等の普及によりデジタル化が進み、大人も子どもも頻繁に使っているようではありますが、人と人の触れ合いが減り、何か寂しい・温もりのないように感じるのは、私だけでしょうか…。また、デジタル化された文字は、抑揚がないとも言われております。

当会としては、紙を通してのふれあいを大切にしております。ただ、今の時代・今の保護者の実情に合わせるべく、来年度は少しずつ変化をつけていけたらと考えております。